

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成29年3月

1. 対象事業	山口市小郡処理区合流式下水道緊急改善計画																		
2. 実施主体名称	山口県山口市																		
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度																		
4. 対象事業の進捗状況	山口市小郡処理区合流式下水道緊急改善計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減：分流式下水道並み ②公衆衛生上の安全確保：未処理放流回数の半減 ①、②の対策として雨水分離側溝32ha、長谷ポンプ場圧送管φ250、高速ろ過施設を整備 ③きょう雑物の削減：きょう雑物流出を極力防止 スクリーンを設置済み(既設)																		
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<table border="1"><thead><tr><th>改善項目</th><th>対策前</th><th>改善目標</th><th>対策後</th></tr></thead><tbody><tr><td>①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)</td><td>73.1 t/年</td><td>56.0 t/年 (17.1 t/年)</td><td>55.8 t/年 (17.3 t/年)</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)</td><td>72 回/年</td><td>36 回/年 (36 回/年)</td><td>33 回/年 (39 回/年)</td></tr><tr><td>③きょう雑物の削減 (スクリーン設置)</td><td>1箇所 対策済</td><td>—</td><td>—</td></tr></tbody></table> <p>()は対策前からの削減量 緊急改善計画を基に事業を実施し、改善目標を達成している。</p>			改善項目	対策前	改善目標	対策後	①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)	73.1 t/年	56.0 t/年 (17.1 t/年)	55.8 t/年 (17.3 t/年)	②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)	72 回/年	36 回/年 (36 回/年)	33 回/年 (39 回/年)	③きょう雑物の削減 (スクリーン設置)	1箇所 対策済	—	—
改善項目	対策前	改善目標	対策後																
①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)	73.1 t/年	56.0 t/年 (17.1 t/年)	55.8 t/年 (17.3 t/年)																
②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)	72 回/年	36 回/年 (36 回/年)	33 回/年 (39 回/年)																
③きょう雑物の削減 (スクリーン設置)	1箇所 対策済	—	—																
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<table border="1"><thead><tr><th>改善項目</th><th>対策前</th><th>対策後</th><th>削減量</th></tr></thead><tbody><tr><td>①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)</td><td>73.1 t/年</td><td>55.8 t/年</td><td>17.3 t/年</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)</td><td>72 回/年</td><td>33 回/年</td><td>39 回/年</td></tr></tbody></table> <p>緊急改善計画に基づく事業の実施により、放流負荷量、回数ともに目標を上回る削減効果が得られている。</p>			改善項目	対策前	対策後	削減量	①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)	73.1 t/年	55.8 t/年	17.3 t/年	②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)	72 回/年	33 回/年	39 回/年				
改善項目	対策前	対策後	削減量																
①汚濁負荷量の削減 (雨天時BOD汚濁負荷量)	73.1 t/年	55.8 t/年	17.3 t/年																
②公衆衛生上の安全確保 (未処理放流回数)	72 回/年	33 回/年	39 回/年																
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	①雨水分離について、容易に雨水分離可能な区域を抽出し、費用効果の高い優先順位から対策を実施した。 ②簡易処理の高度化について、スピリット21で開発された最新技術(高速ろ過施設)を採用した。 ③ソフト対策として、広報誌やHP等で市民に広く周知し、下水道の正しい利用(ごみや油等を流さない)のお願いをしている。																		
8. 今後の方針	①汚濁負荷量の削減 高速ろ過施設の適切な維持管理により、汚濁負荷量の削減を引続き行う。また、管渠からの不明水対策を実施することにより、更なる汚濁負荷量の削減を図る。 ②公衆衛生上の安全確保 ①についての対応方針と共通することから、同様の対応により、未処理放流回数の更なる減少に努める。 ③きょう雑物の削減 スクリーンの適切な維持管理を行い、きょう雑物の流出防止に努める。																		